

トリグリセライドキット

エクティア[®]XL '栄研' TGII

はじめに

中性脂肪はグリセリン分子に3分子の脂肪酸がエステル結合したもので、全身の各種脂肪組織の主成分として生体のエネルギー貯蔵にあずかっています。また、血中中性脂肪には外因性と内因性とがあり、前者はCM中に、後者はVLDL中に組み込まれて血中を運搬されます。血中の中性脂肪の測定は血清脂質異常のスクリーニング検査として重要であるとともに動脈硬化性疾患の危険因子としても重要です^{1,2)}。

エクティアXL '栄研' TGIIは、酵素法に基づいて血清又は血漿中の中性脂肪を測定する試薬です。



特徴

- 血漿測定が可能です。
- 使いやすい液状試薬です。
- 強乳び検体でも正確な測定値が得られます。
- 各種自動分析装置への適用が可能です。

包装単位・貯蔵方法・有効期間

製品名	R1/R2	包装単位	製品コード	貯蔵方法	有効期間	適応機種例
エクティア [®] XL '栄研' TGII	試薬-1	50mL×4	G-DG31	2～10℃	1年間	日立7180
	試薬-2	20mL×2	G-DG42			
	試薬-1	85mL×4	G-DG33			日立7070
	試薬-2	45mL×4	G-DG34			
	試薬-1	400mL×2	G-DG35			日立7250
	試薬-2	200mL×2	G-DG36			

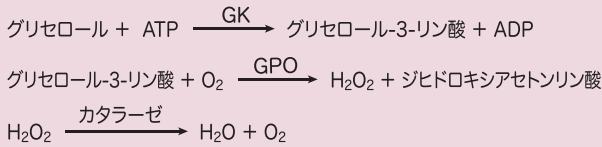
(別売標準)

製品名	包装単位	製品コード	貯蔵方法	有効期間
リピッドキャリブプレートXL '栄研'	2mL分×3	G-DN94	2～10℃	1年間

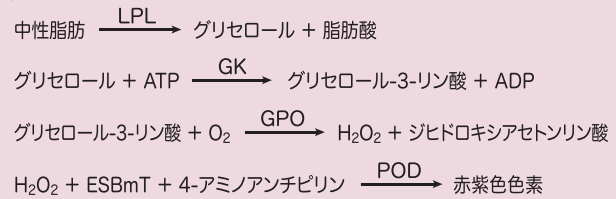
測定原理

<第1反応>検体中の遊離グリセロールはATPの存在下、グリセロールキナーゼ(GK)の作用によりグリセロール-3-リン酸になります。更にグリセロール-3-リン酸オキシダーゼ(GPO)によって過酸化水素を生じ、カタラーゼによって水と酸素に分解されて消去されます。
 <第2反応>検体中の中性脂肪は試薬-2に含まれるリポプロテインリパーゼ(LPL)によりグリセロールと脂肪酸に速やかに加水分解されます。生成したグリセロールはATPの存在下、GKの作用によりグリセロール-3-リン酸になり、更にGPOによって過酸化水素を生じます。過酸化水素はペルオキシダーゼ(POD)の存在下で4-アミノアンチピリンとESBmTを酸化縮合させ、赤紫色色素を生成します。
 この赤紫色色素の吸光度を測定することにより中性脂肪量を求めます。

第1反応:



第2反応:



使用目的

血清又は血漿中の中性脂肪の測定

測定範囲

3 ~ 2000 mg/dL

基礎データ³⁾

測定機器: 日立7180形自動分析装置

■ 同時再現性

単位: mg/dL

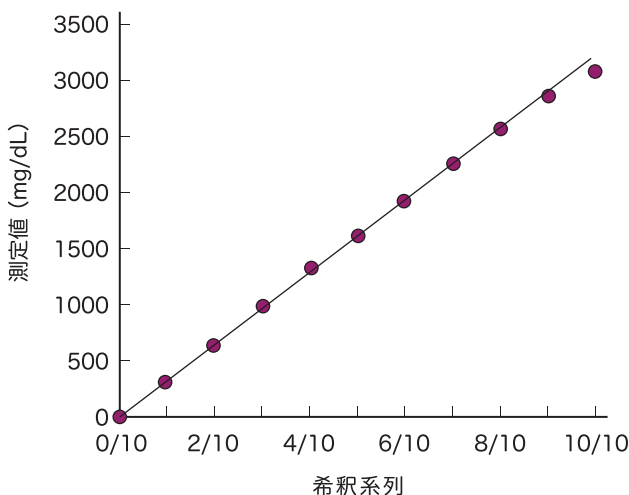
	試料1	試料2	試料3
N	20	20	20
Mean	65.6	173.5	203.0
S.D.	0.71	2.2	0.9
C.V.(%)	1.1%	1.3%	0.4%
Max.	67	177	205
Min.	64	167	202
Range	3	10	3

■ 妨害物質

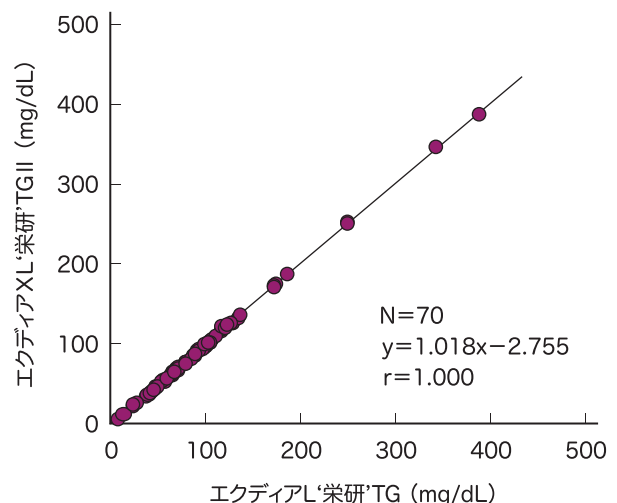
下記濃度まで測定値への影響は認められませんでした。

アスコルビン酸	50 mg/dL
遊離型ビリルビン	36.4 mg/dL
抱合型ビリルビン	42.4 mg/dL
ヘモグロビン	500 mg/dL

■ 希釈直線性



■ 相関性



主要文献

- 1) 金井 正光, 他: 臨床検査法提要, 改訂第32版, 金原出版, 東京, 542-545, 2005.
- 2) 瀧 雅成, 他: 日本臨床, 62(増刊号12): 30-33, 2004.
- 3) 社内データ

本試薬の使用上または取扱い上の注意については、製品添付文書をご参照ください。